

エッジボード 〈GRC 製舗装仕切り板〉

エッジボードは、芝生やグランドカバープランツと舗装材や砂地や植込みとの間に、綺麗な境界線をつくる新しい見切り材です。従来使われていた波板や杉板などの見切り材に比べて、様々な点で優れ、これからの公園づくりや街の景観整備に素晴らしい効果を発揮します。

■特長

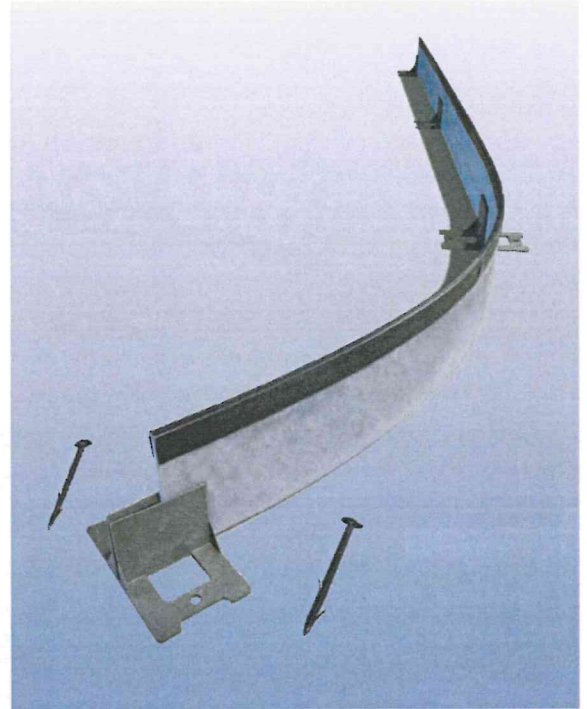
エッジボードは、GRC(ガラス繊維強化セメント)で製造された製品です。また、側溝用埋設型枠として、全国で20年以上のご愛顧を頂いているKCフォームと同じ原版から切り出した製品ですので、安心して施工していただけます。

さらに、エッジボードの最大の特徴は、コンクリート製品なのに曲がるという点です。ゆっくりと製品の各所を押し出すように曲げてやると半径1m程度のRにすることも可能です。

エッジボードは施工も簡単です。ベースを1m間隔で置き、本体をベースに差し込むだけです。用途に応じて、舗装時の転圧を緩衝する天端カバー、ベースのズレを抑制するアンカー、芝生が本体の継ぎ目から侵入することを防止する継ぎ目テープもご用意しています。

■用途

- 園路・歩道における見切り材
 - ・インターロッキング舗装
 - ・コンクリート舗装
 - ・アスファルト舗装 ・樹脂系舗装 その他
- 敷き砂流失防止
 - ・サンドクッションで施工する舗装材において、勾配の急な場所での敷き砂が流失することを防止する。
- 地先境界ブロックの代用
 - ・施工費を含めるとエッジボードの方が地先境界ブロックより安価になります。当初、エッジボードは舗装の見切り材として開発しましたが、安価で施工性が良いことから、上記の他にもいろいろな場所で使いたいとのご要望を頂いております。



■形状・寸法

